

# 駿台辛味

題字: 鍾家新

永井貫之

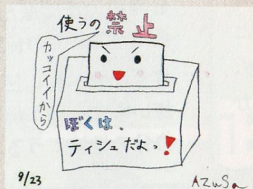
昼は研究者、夜は良き父良き夫・・・  
そんな政経某教授のつれづれブログ

「おとこもすなる日記というものをおんなもしてみむとてするなり」(土佐日記)。現代であれば、「学生もすなるブログというものをおじさんもしてみむとてするなり」。『歩き方』恒例(?)、政経おやじ教員のブログ風日記2008の公開なのだ。



08.5.2 金

5時に起きる。きのうに続き、寝坊だ。メールチェック、雑用処理。官報検索作業。朝食、片づけ、掃除。子どもたちの見送り。10時に家を出る。新宿で降りて、×× cinema を探す。むかしよく酔っぱらった限界で懐かしい。チャップリン映画祭のリバイバル。こぢんまりしたきれいな映画館。上映前の照明がそこそこ明るいので、読書ができる。ここでオキ・シロー『ヘミングウェイの酒』を読むと、なんともぜいたくな気分になる。『キッド』『巴里の女性』の2本。『巴里の女性』ははじめてみる。当時のパリの貴族たちの痴態ぶり。最後はやはり泣かせる・・・。



娘は画伯との呼び声高い

08.6.16 月

土曜日の学校公開日の代休で子どもたちはのんびりしている。暑くなるというのでノーネクタイ。7時25分すぎに出勤。2限の××演習。ゼミ室に入るとみな下を向いている。あいさつぐらいしると怒鳴りたくなる。さらに、予習不足やいねむりにかりかりする。が、個人を注意するときょうび刺されかねないので、最後に予習をきちんとやってくるようにいう。駿河台への移動の電車内で、立川談志『人生、成り行き』を読んで憂さ晴らし。当時の総理総裁の佐藤栄作が、新人参院議員の談志に自民党入党を直々に口説いたというくだりにニヤリとする。「数は力」か・・・。

08.7.28 月

7時半ごろ家を出る。いつもより1本遅いので、快速でいく。8時半前に和泉の試験本部。9時から政治××の試験。答案整理の時間を試験本部で、深津真澄『近代日本の分岐点』を読みながらつぶす。日露戦争で、単線のシベリア鉄道をロシア軍が一方通行で貨車を使い捨て、物資を運んだと興味深い記述にぶつかる。でも、運転士や機関車はどうしたのだろう。答案を受け取る。300枚もある。法事の帰省を考えると、成績表提出期日まで出せるか不安になる・・・。

08.9.6 土

11時過ぎに家を出る。中央高速バスで山中湖へゼミ合宿。渋滞がひどい。昼食をとり昼寝して目が覚めると、まだ八王子の料金所の手前だった。結局、山中湖到着は1時間遅れる。ゼミ、6時から夕食、入浴。空き時間に院生の論文チェック。8時からゼミ。9時半すぎからコンパ。にぎやかに盛り上がる。隣にすわった女子学生が、ウィスキーの梅酒割りをうまそうに飲んでいる。それって割ってんのか?と心配になる。1時に「お祈りの時間だから」と退散する・・・。

BOOKS 某教授の本棚をのぞいてみましょう



オキ・シロー  
『ヘミングウェイの酒』



立川談志  
『人生、成り行き』



深津真澄  
『近代日本の分岐点』